

2008年10月1日

食費改定についてのお知らせ

株式会社 生活科学運営
代表取締役社長 古谷健太

弊社では、バブル経済の崩壊後、90年代後半から続いた物価低迷状態の中、10年近く、ハウスの食事代金を据え置いてまいりました。しかし、昨年より食材仕入れ価格が上昇し続け、ご存知のように、小麦・トウモロコシなど穀物の値上がりに原油高騰が重なり、年が明けてからは食料品価格の値上げは、麺類やパンに限らず、乳製品、食肉さらには油脂・調味料にまで及んでおります。加えてラップフィルム・ゴミ袋など消耗品の値上がりも、収支を圧迫するものとなりました。

食サービス課並びにハウスの厨房では、仕入れ先の見直し、食材の変更、献立の工夫、無駄の削減などの努力をしてまいりましたが、来年も高水準で価格が推移すると予測され、食部門の収支は大変きびしい状況にあります。これまでどおり、適切な栄養バランスを満たし、昨秋発表いたしました「食のおいしい力宣言」で掲げた食サービスの質と食の安全性向上の姿勢を継続していくために、食費を値上げせざるを得ないと判断した次第です。

今後の経済はインフレ基調にあり、入居者の皆様にご満足いただける食サービスを継続していくために、今回の改定価格を基礎に、食料品だけでなく、諸物価、人件費の上昇を想定し、長期的な見通しに立った経営努力をしてまいります。

弊社といたしましては、これを契機に品質の維持とサービスの向上においてさらに努力していく所存です。何卒ご理解のほど宜しくお願い申し上げます。

記

1. 改定額

	改定前	改定後
朝食	350円 (税込367円)	400円 (税込420円)
昼食	650円 (税込682円)	720円 (税込756円)
夕食	700円 (税込735円)	780円 (税込819円)
3食合計	1700円 (税込1785円)	1900円 (税込1995円)

※尚、上記は標準的な価格であり、ハウスによって一部異なります。

2. 改定日

2008年10月1日

以上